伊豆大島でダイビングを行う際のローカルルールとマナーについて

更新 2022 年 2 月 23 日
大島ダイビング連絡協議会

【 一般ルール 】

1　地元への敬意を払い、思いやりの気持ちを持ってダイビングを行う。
2　車の運転は交通ルールを厳守し、速度を守り、常に安全運転を心掛け、譲り合いの気持ちを忘れない。
3　ピストン送迎はスピード違反の原因となるため、「参加人数 ≦ 車の定員」で車を手配する。
4　一般島民にとっては生活の場なので、水着やウェットスーツで公共施設や商店などに入ってはいけない。
5　港の桟橋内の港湾管理エリア内に車で進入してはいけない。
6　すべてのゴミは責任を持って持ちかえる。
7　煙草を吸う際は必ず灰皿を用意する。煙草の灰や吸い殻を海辺に落としてはいけない。
8　素潜りであったとしても生物を銛で突くという行為をしてはいけない。漁業権を持っている者は例外とする。

【 ダイビング一般ルール 】

1　海面利用協定書で決められたポイントの潜水可能範囲を厳守して潜る。
2　大島ダイビング連絡協議会に加盟しているショップのタンクを使用する。
3　シグナルフロートはダイバーが 1 人 1 つ必ず携帯する。
4　ダイブコンピューターは身体の一部や BCD に装着する。
5　セルフダイビングは利用ショップの厳しい基準をクリアしたダイバー限定とする。
6　最初にエントリーするダイバーが潜水旗（国際 A 旗）を揚げ、最後にエキジットしたダイバーがおろす。
7　最後にエキジットしたダイバーがトイレの電気を消す。
8　駐車スペースを守り有効に利用する。駐車場の場所取りは禁止。譲り合いの気持ちを忘れない。
9　セッティング場所では整理整頓を心掛ける。駐車スペースでセッティングしてはいけない。
10　道路に隣接しているポイントでは往来する車に十分注意して、セッティング・横断をおこなう。
11　エキジットするダイバーと、エントリーするダイバーが交錯した場合、エキジットするダイバーを優先とする。
12　緊急用純酸素を使用した際は、利用サービスもしくは大島ダイビング連絡協議会へ連絡する。
13　海中にいる貝・イセエビ・海藻を含めるすべての生物を捕獲してはならない。
14　海中生物にダメージを与えてはならない。
15　餌付けは禁止とする。
16　ダイビングポイントにて漁業を行っている場合、漁を優先する。譲り合いの気持ちを忘れない。
17　津波に関する注意報や警報が発令された場合、すべてのダイビングを中止する。
18　遊泳禁止が発令された場合、海面を利用するスノーケリング・講習などを中止する。
19　タンクは必ず寝かせた状態で置くこと。タンクを立てた状態でその場を離れてはならない。
20　シャワーやトイレの水道で器材を洗ってはいけない。ダイビングポイント以外の公衆トイレでも禁止とする。
21　早朝着の大型客船で到着した際、十分な睡眠がとれてない方やお酒が残っている方の早朝ダイブは控える。
22　海底へ予備タンクを設置する場合、迷惑にならない場所を選び、ショップ名と目的を明示する。

【 各ポイントの利用方法について 】

＜秋の浜＞

1　ウェットスーツを着てプールに入ってはいけない。
2　器材をプールの水、プール下の浴槽、シャワー、トイレの水で洗ってはいけない。
3　ウェットスーツの着脱はプール下の浴槽またはシャワーを使用すること。
4　小型車はトイレ前の小型車専用駐車場に停める。
5　運転技術に自信の無い方は、海に向かって右側の駐車場は使用しない。
6　Ｕターンスペースには駐車してはいけない。
7　海に向かって左側駐車場の一番奥は小型車専用とする。
8　トイレ前の坂道ではＵターン禁止とする。
9　梯子は左右どちらからでもエキジットできる。
10　梯子が混んでいる場合、１チーム１列を使用する。譲り合いの気持ちを忘れない。
11　海に向かって右側のスペースでセッティングする場合は地面の黄色いラインよりも海側で行う。
12　夏休みの時期はプール上の駐車スペースは、駐車禁止とする。
13　マイクロバスなどの大型車両で下の駐車場へ進入する事は禁止する。

＜野田浜＞

1　サイクリングロードに荷物を置いてはならない。セッティングも行ってはならない。（指定されたエリアで行う）
2　道路上で荷物の積み下ろしをする場合は速やかに行い、車はすぐに駐車場へ。
3　海水浴・スノーケリングのお客様も来られるので、互いに譲り合う。
4　漁船の航行があるので、浮上する際は十分注意し、アーチより沖での「浮上」「潜降」の練習は禁止。
5　技術が未熟なチーム、またポイントに不慣れなチームはアーチより沖の砂地へは行かないように。
6　ガイドロープは体験ダイビングを最優先とし、チームが交錯する場合はエキジットを優先とする。
7　ポイント前の駐車スペースが満車の場合は、トイレ側駐車場に駐車する。
8　夏期の野田浜周遊バスが運行している期間は、バスＵターン場所への駐車は控える。

＜ケイカイ＞

1　サイクリングロードではセッティングを行わず荷物も置かない様にする。
2　路上駐車は禁止とする。
3　メインの駐車場 11 台分がいっぱいの場合は元町側の坂の上の予備駐車場５台分へ駐車する。
4　エントリー・エキジットする場合には、足場が悪いため十分注意して行う。
5　エントリー口では、エキジットして来るチームを優先する。
6　漁船の往来があるため、沖で浮上をする際には十分に注意する。
7　講習での「潜降」「浮上」の練習は行わない。
8　流れが早く地形も複雑な為、潜り慣れていない場合は必ず利用ショップの説明を受けてから潜水をする。
9　ナビゲーションには十分注意し、潜り慣れて居ないチームは沖まで出ないよう心がける。
10　ナイトダイビングは禁止とする。
11　ライトが必要な状況でのエントリーは禁止とする。まわりが明るくなってからエントリーすること。
12　早朝ダイブの際、陸上・エントリー口付近でのライトの使用は禁止とする。（ケイカイはタカベ漁、イセエビ漁を行う漁場であり、日が昇る前のライト点灯は漁の邪魔となります。）

＜トウシキ＞

1　坂下りて直ぐ右の崖近くの駐車は、落石注意。
2　駐車スペースのライン引きがされていないからこそ、一台でも多く駐車できるよう、かつ通行の妨げにならない駐車を心がける。
3　入り江の混雑時、およびガイドロープ使用は原則的にエキジット優先。
4　潮流があり、ボートの往来が多いので、沖合での浮上は緊急時以外禁止。
5　潮流が速い際は、あまり沖に出ない。

＜王の浜＞

1　セッティング場所は、車のすぐ後ろか山側の歩道とし、車両の通行を妨げないようにする。
2　駐車場が満車の際は、坂の上のトイレ前に２台駐車可能とする。
3　坂道への駐車は禁止とする。
4　エントリー口、及びガイドロープは、エグジットするチームを優先する。
5　エントリー口の階段は、苔が生えていて滑りやすいので注意する。
6　マイクロバスなどの大型車両で下の駐車場へ進入する事は禁止する。
7　ショップ毎に可能な限り、車両を少なくするように工夫する。
8　海辺にダイビング器材を放置しない。
9　エントリー口付近において多人数で休憩するなど、一般客の妨げになる行為は慎む。
10　一般客との接触事故を避けるために、水陸ともに声を掛け合って注意喚起する。

７月、８月、９月限定ルール

11　夏の海浜パトロール期間中は、10:00~15:00 まで潜水禁止とする。
12　手前４台分の駐車スペースは、ダイビング車両の駐車を禁止とする。
13　奥２台分の駐車スペースは、ダイビング車両の駐車を禁止とする。
14　ダイビング車両はバックで駐車し、山側の路肩スペースでセッティングする。
15　スノーケリングなど水面で活動する場合は、遊泳エリアのブイの範囲内で行う。
16　海水浴客のために設置された土嚢からのエントリー＆エキジットを禁止とする。

秋の浜

① 軽自動車は軽専用駐車場に停めて下さい。
② イセエビ漁の期間は桟橋より東側の区域は ナイトダイビング禁止となります。
③ 毎年 1 月 24 日は泉津地域の伝統ルールのためナイトダイビング禁止となります。
④ 温水シャワーは 100 円で 2 つ同時に 3 分ご利用頂けます。
⑤ ダイバー以外の方も利用します。譲り合いをお願いします。
⑥ 駐車場の場所取りはご遠慮下さい。
⑦ 純酸素は男性側トイレのボックスに入っています。
⑧ 一番近い AED は泉津出張所と泉津郵便局にあります。

野田浜

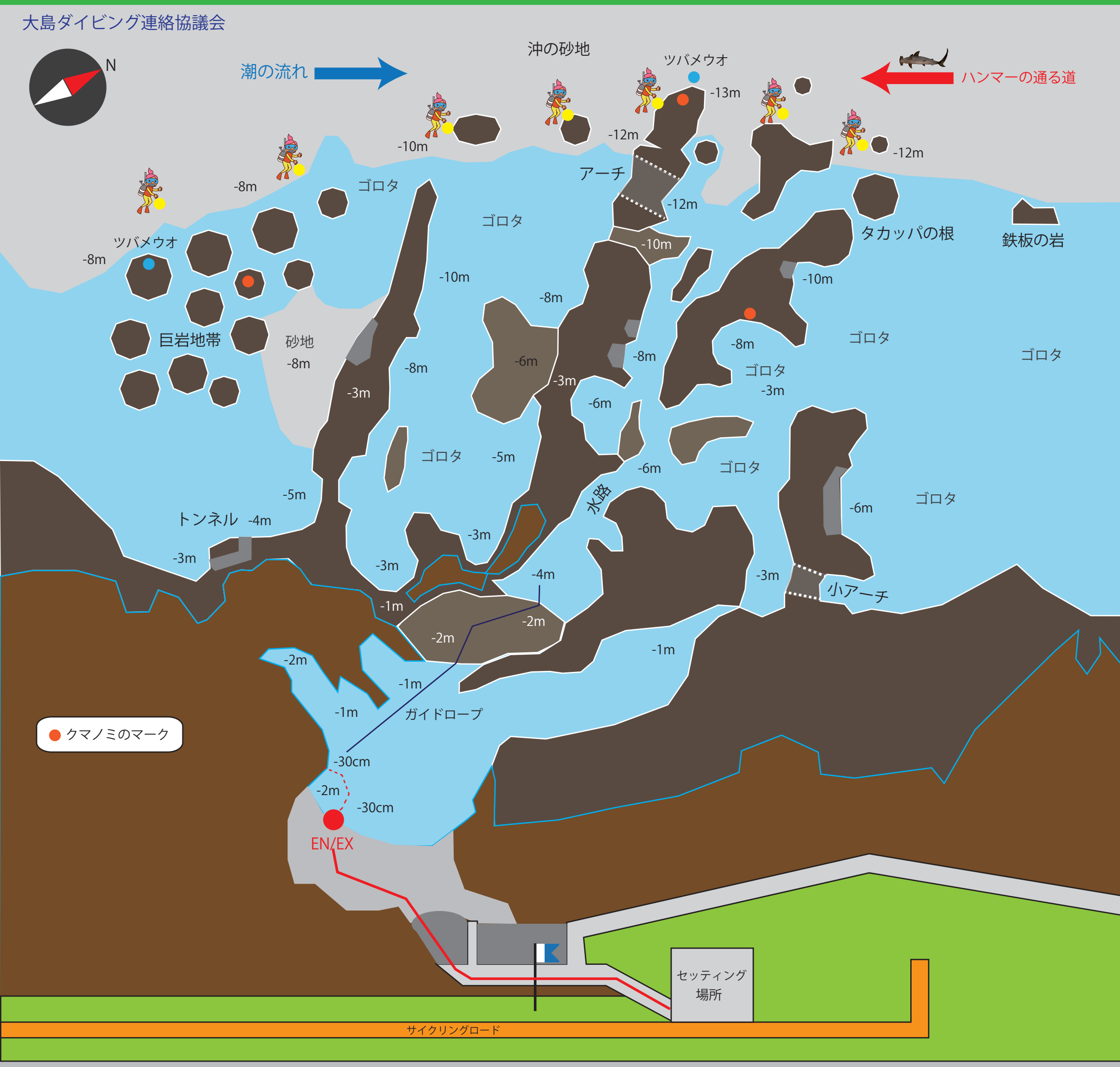
① 道路にはみ出しての作業は危険なので禁止です。
② サイクリングロードでの作業も禁止です。
③ ナイトダイビング可能なポイントです。
④ 黒潮接近時は南から北への激流になります。
無理をすると漂流事故に繋がります。
⑤ 階段とスロープは砂で滑るので注意が必要です。
⑥ 手摺りは朽ちているので使用しないで下さい。

⑦ 純酸素は駐車場のボックスに入っています。
⑧ 一番近い AED は大島空港とその隣の消防本部です。

大島ダイビング連絡協議会

野田浜で確実に安全にハンマーを見るためのコツとマナー

大島ダイビング連絡協議会



ハンマーは沖の砂地とゴロタの境界線を通ります。ハンマーが砂地を泳ぐ珍しいシーンが見られます。ケイカイよりも人が少ない穴場です。

←このマークの場所で待つとハンマーを近くで観察できます。

マナー

① 野田浜はナイトダイビング OK なポイントです。暗いうちからエントリーしても大丈夫です。

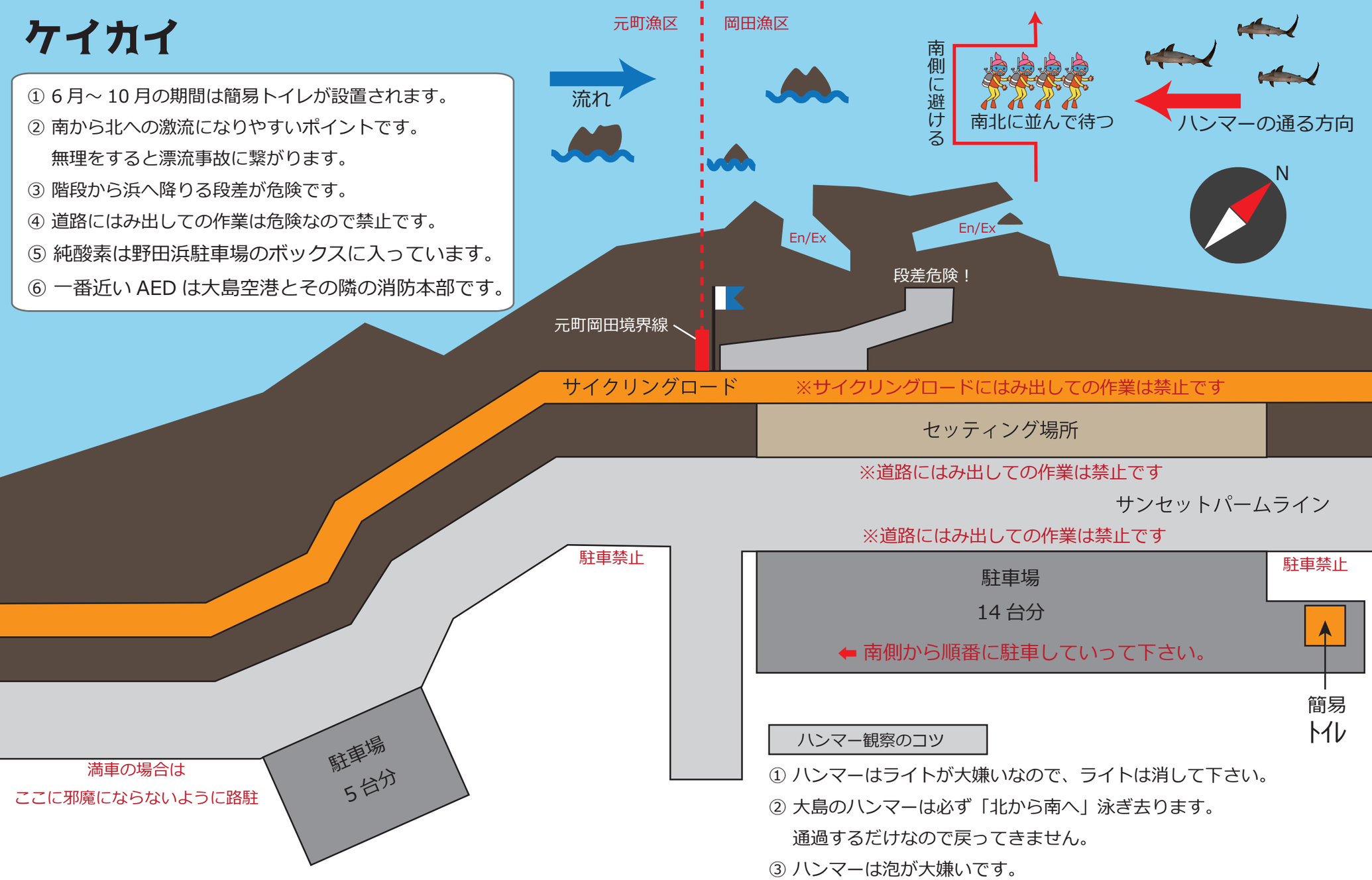
② ハンマーは人工の光が嫌いです。ライトは消して下さい。

③ ハンマーは泡が嫌いです。流れの向きに沿ってダイバーが並ぶとハンマーに当たる泡が少なくなるので近くで観察できます。

④ ハンマー待ちをしているダイバーを避ける場合、ハンマーがやってくる北側の目の前を横切ると迷惑なので南側の後ろを通りましょう。

ケイカイ

① 6 月～ 10 月の期間は簡易トイレが設置されます。
② 南から北への激流になりやすいポイントです。
　無理をすると漂流事故に繋がります。
③ 階段から浜へ降りる段差が危険です。
④ 道路にはみ出しての作業は危険なので禁止です。
⑤ 純酸素は野田浜駐車場のボックスに入っています。
⑥ 一番近い AED は大島空港とその隣の消防本部です。



早朝ダイブローカルルール

① 駐車場は日の出時刻の２０分前から利用可能です。
　器材は日の出時刻以降に背負って下さい。
②早朝ダイブの際、陸上・エントリー口付近でのライトの使用は禁止です。
　(ケイカイはタカベ漁、イセエビ漁を行う漁場であり、
　日が昇る前のライト点灯は漁の邪魔となります。)
③ 駐車場は 11 台＋予備 5 台の合計 16 台分しかありません。
　満車の時はケイカイは諦めて野田浜でハンマーを狙って下さい。

ハンマー観察のコツ

① ハンマーはライトが大嫌いなので、ライトは消して下さい。
② 大島のハンマーは必ず「北から南へ」泳ぎ去ります。
　通過するだけなので戻ってきません。
③ ハンマーは泡が大嫌いです。
　南北に一列に並んで待てば泡の幅が減るので近くで観察できます。
④ ハンマーが通る道はほぼ決まってます。
　大島では根の上、または、根の窪みに掴まって観察します。
　決して追いかけないで下さい。
⑤ 先に他のチームがハンマー待ちしている場合は、
　必ずそのチームの南側に避けて通りましょう。
　ハンマーがやって来る北側を通ると迷惑です。

大島ダイビング連絡協議会

ケイカイで確実に安全にハンマーを見るためのコツとマナー

ハンマーは中央の水路で一気に水深を下げてくるので、この水路よりも南側で待ちましょう。皆で守れば高確率で真上を通過してくれます。
←このマークの場所で根に掴まって待つとハンマーを近くで観察できます。

マナー

① ケイカイはナイトダイビング禁止のポイントです。日の出の時刻を過ぎてからエントリーして下さい。
② ハンマーは人工の光が嫌いです。ライトは消して下さい。
③ ハンマーは泡が嫌いです。流れの向きに沿ってダイバーが並ぶとハンマーに当たる泡が少なくなるので近くで観察できます。
④ ハンマー待ちをしているダイバーを避ける場合、ハンマーがやってくる北側の目の前を横切ると迷惑なので南側の後ろを通りましょう。
⑤ 右の砂地の壁沿いは岸へ向かって流れるので帰り道に便利です。水面付近を泳ぐハンマーが見られます。

ハンマーヘッドシャーク狙いのケイカイ早朝ダイブの参加基準について

大島ダイビング連絡協議会では 2023 年 8 月 1 日より、
ダイビングポイント「ケイカイ」でのハンマーヘッドシャーク狙いの早朝ダイブに関して全参加者（現地をのぞく引率者含む）に対して次の参加基準を設定します。
重大事故防止のため、皆様には何卒ご理解頂けますようお願いします。

〔早朝ダイブの定義〕 その日の日の出時刻から 90 分後までとします。

【 参加基準 】

① 経験本数３０ダイブ以上であること。

② ケイカイでの早朝ダイブが大島での１ダイブ目とならないこと。

③ ６５歳以上の方、既往症のある６５歳未満の方は医師の診断書を提示すること。

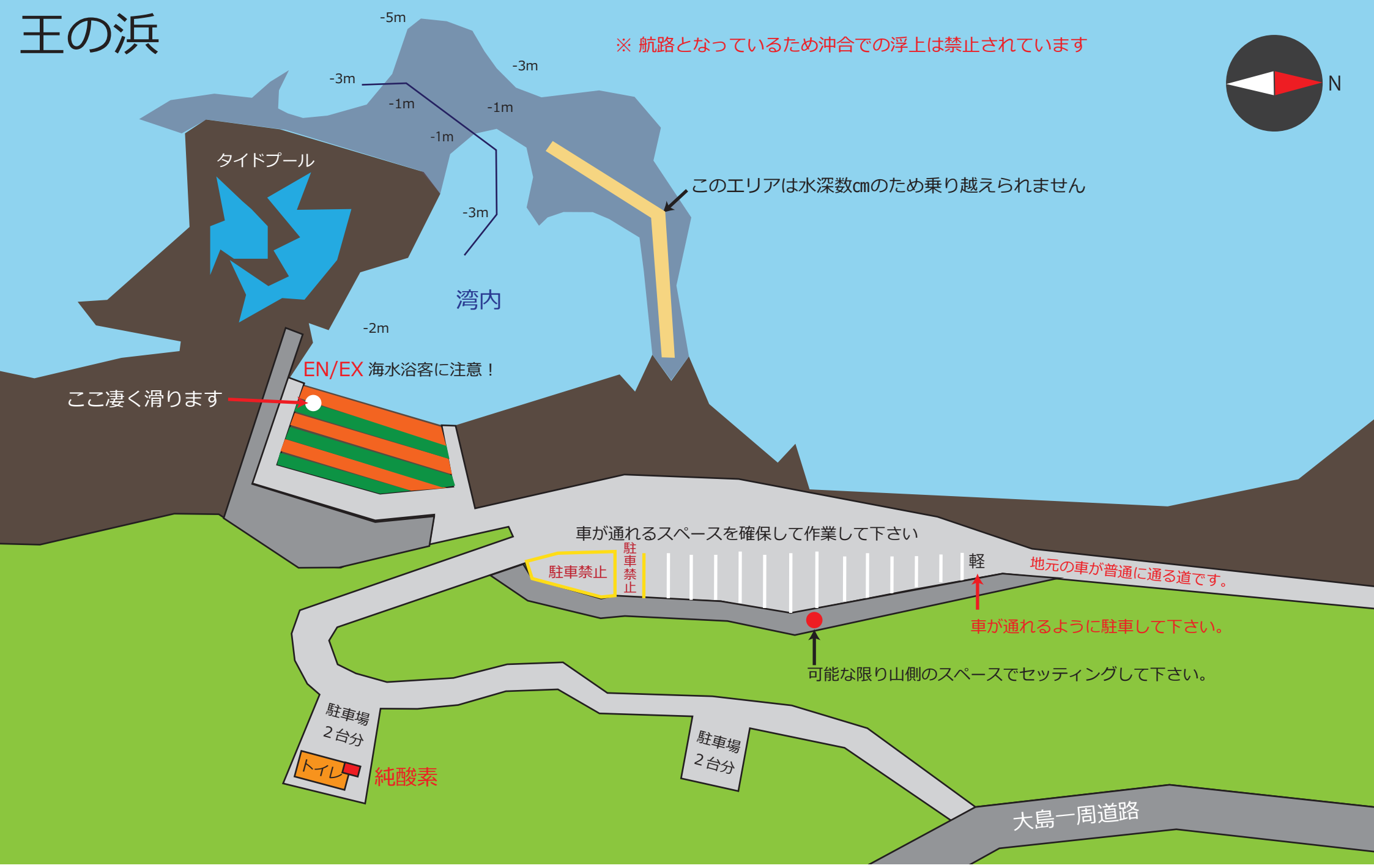
④ 大島ダイビング連絡協議会の作成する「宣誓書」に署名すること。

上記の参加基準は大島ダイビング連絡協議会に所属するすべてのダイビングサービスで共通に適用される参加基準であり、ダイビングサービスごとにより詳細な基準があります。ご利用のダイビングサービスの設定する参加基準の方が厳しい場合は、そちらが適用されます。

〔参加基準設定の経緯について〕
2022 年と 2023 年で重大な事故が４件も続いて発生しています。
重大事故が頻発している理由として、深夜３時台に起床して朝食を食べる前に激しい運動をするという体に大きな負荷が掛かる特殊な状況でのダイビングである事、更に、ビーチエントリーで浅い水深で見られるためダイビングスキルが未熟でも大丈夫という間違った認識を持ったダイバーがいる事などがあげられます。事故ゼロを目指すため参加基準を設定させて頂きました。

大島ダイビング連絡協議会

王の浜



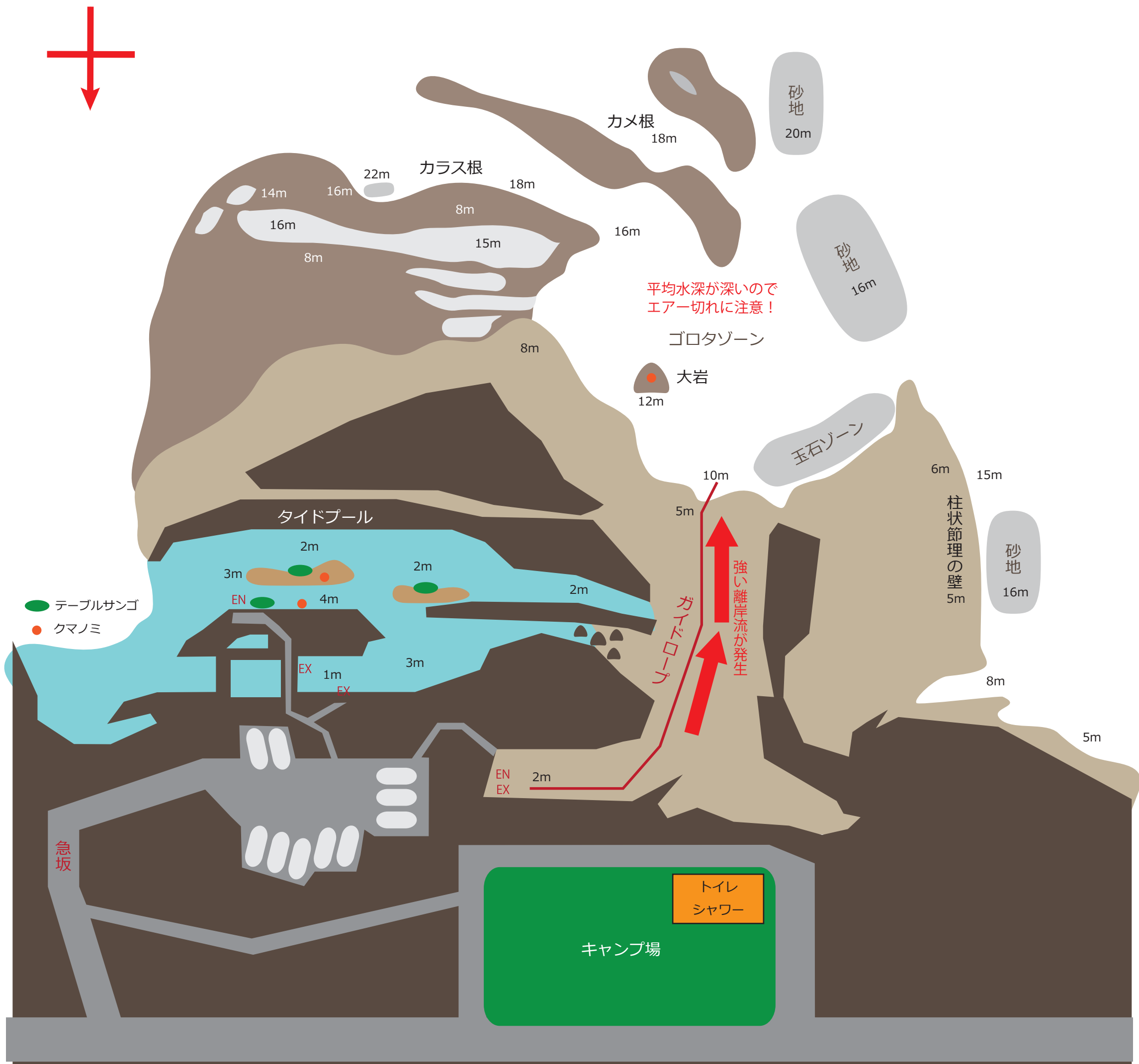
① セッティングは可能な限り山側のスペースで行って下さい。
② 駐車場の海側でセッティングする場合は広がらないで下さい。
③ 駐車場の北側の端っこの駐車場は軽自動車専用です。
地元の車が通る道なので車が通れるスペースを確保して下さい。
④ EN/EX をする階段はコケで滑るので細心の注意が必要です。
⑤ 海水浴客優先です。湾内では水面にも注意して下さい。
⑥ 把握しずらい地形のため不安な方は無理をして沖へでないで下さい。
⑦ 湾内より沖は航路のため浮上は禁止です。
⑧ 満車の場合は器材を下ろしたら野増漁港へ駐車して下さい。
早歩きで 5 分程で戻ってこれます。
⑨ ナイトダイビングは湾内限定で可能です。
⑩ 純酸素は男性用トイレのボックスに入っています。
⑪ 一番近い AED は野増駐在所です。

【 夏季の特別ルール 】
7 月の海の日三連休 ～ 8/16(火) までの期間中の土・日・祝日は
下記のルールが適用されます。

⑫ 10：30 ～ 14：30 まで潜水禁止です。
⑬ 南側の手前 3 台分の駐車スペースはダイビング車両は駐車禁止です。
⑭ 必ずバックで駐車し、山側の路肩スペースでセッティングして下さい。
⑮ 夏場の王の浜は多くの海水浴の方が利用する場所です。
譲り合いの気持ちで準備・ダイビング・後片付け・運転をして下さい。

大島ダイビング連絡協議会

トウシキ



① ガイドロープ沿いは強い離岸流が常に発生しています。エキジットの際には特に注意が必要です。

② 平均水深が深くエアー切れのリスクが高いポイントのため注意が必要です。

③ トイレはキャンプ場にあります。徒歩だと５分ほど掛かります。

④ 西側 3～4 台、北側 4～5 台分です。１台でも多く停められるよう心掛けて駐車してください。

⑤ 器材のセッティングは、エントリーエキジットの経路、車の通行の妨げになるエリアを避けて行ってください。

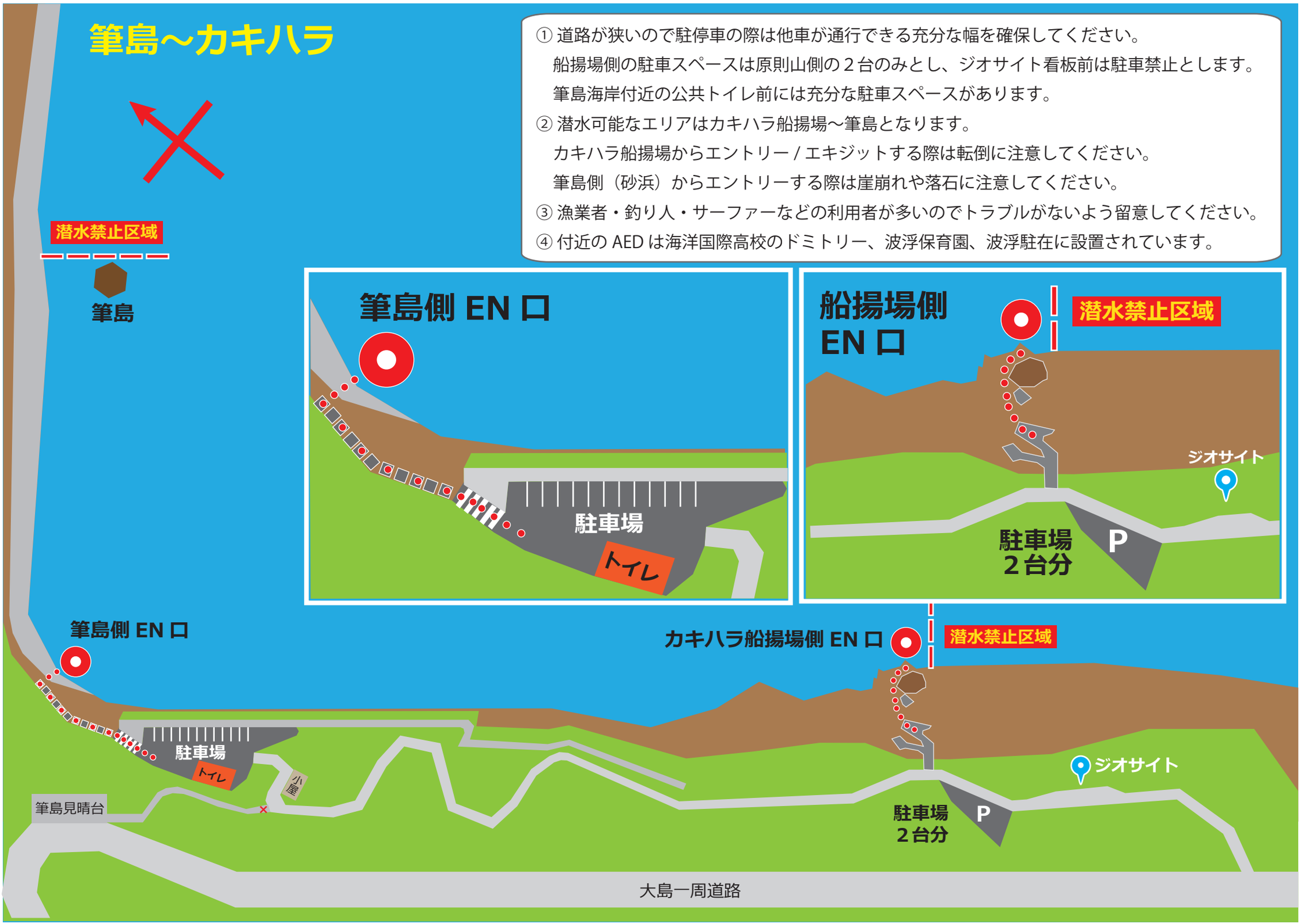
⑥ 激流になりやすいポイントです。無理をすると漂流事故に繋がります。

⑦ エキジット前にロープ付近での安全停止を推奨します。

⑧ タイドプールにも流れが入るので注意が必要です。

⑨ 一番近い AED は海洋国際高校にあります。

大島ダイビング連絡協議会

筆島～カキハラ

① 道路が狭いので駐停車の際は他車が通行できる充分な幅を確保してください。
船揚場側の駐車スペースは原則山側の２台のみとし、ジオサイト看板前は駐車禁止とします。
筆島海岸付近の公共トイレ前には充分な駐車スペースがあります。
② 潜水可能なエリアはカキハラ船揚場～筆島となります。
カキハラ船揚場からエントリー / エキジットする際は転倒に注意してください。
筆島側（砂浜）からエントリーする際は崖崩れや落石に注意してください。
③ 漁業者・釣り人・サーファーなどの利用者が多いのでトラブルがないよう留意してください。
④ 付近の AED は海洋国際高校のドミトリー、波浮保育園、波浮駐在に設置されています。